令和7年度 教科シラバス

教科	国語	科目	現代の国語
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	現代の国語（大修館書店）	副教材	現代の国語学習ノート（大修館書店） 新コンセプト現代の国語（浜島書店） 現代文単語げんたん（いいずな書店）

学習目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、他者とのかわりの中で伝え合う力を高めるとともに思考力や想像力を伸ばすことで心情を豊かにし、言語感覚を磨くことで実社会の充実を図る。

学習内容

前期（4～9月）			後期（10～3月）		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
文章の要点をつかむ ・水の東西 ・動的平衡としての生物多様性	中間	①	類似的文章を比較しながら読む ・「美しさの発見」について ・脳は美をどう感じるか	中間	④
伝わるように話す ・伝わるように話す ・わかりやすく書く ・工夫して話す	中間	②	根拠を吟味しながら読む ・贅沢を取り戻す ・文章を読み取り主張を書く	中間・期末	⑤
資料と文章の関係を読む ・「安くておいしい国」の限界 ・インターネット時代の音楽産業 ・統計資料をもとに意見を書く	期末	③	主体的に読み、考えを発信する ・白 ・作業ロボットの悲劇 ・レポートを書く	期末	⑥

学習方法

デザイン・アートコース

副教材を活用して問題演習を行いながら内容を理解していく。文章を読んだり、意見を書いたり表現したりと様々な活動を行う。

評価方法

デザイン・アートコース

・授業中の行動観察・レポート評価・ワークシート（振り返りも含む）・授業プリント評価・定期考査（4回）

評価の観点

a. 知識・技能

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、その特質を理解し、適切に使うことができ、自国の言語文化に対する理解を深めている。

b. 思考・判断・表現

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、その特質を理解し、適切に使うことができ、自国の言語文化に対する理解を深めている。

c. 主体的に取り組む態度

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、自国の言語文化の担い手として自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。

令和7年度 教科シラバス

教科	国語	科目	言語文化（デザイン・アート）
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	言語文化（大修館書店）	副教材	教科準拠言語文化学習ノート（大修館書店） イラストでつかむ古文の基礎（中部日本教育文化会）

学習目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、他者とのかかわりの中で伝え合う力、言葉による見方・考え方に対する意識を高めるとともに思考力や想像力を伸ばすことで心情を豊かにし、言語感覚を磨くことで実社会の充実を図る。

学習内容

前期（4～9月）			後期（10～3月）		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
言語文化への視点 「文字の深秘」	中間	①	自然へのまなざし 「をりふしの移り変はるこそ」	—	③
古文に親しむ 「児のそら寝」「絵仏師良秀」	中間	①	言葉を紡ぐ 「羅生門」	中間	④
漢文に親しむ 「私たちと漢文」	期末	②	人との交わり 「伊勢物語」	中間	⑤
現代に生きる言葉 「蛇足」	期末	②	伝統と発展、思いを表す言葉Ⅱ 短歌・俳句	期末	⑥
伝統と発展 「実体の美と状況の美」	期末	③	旅と人生 「おくのほそ道」	期末	⑥

学習方法

デザイン・アートコース

副教材を活用して問題演習を行い、内容を理解する。現代文、古文、漢文の様々な文章を学習する。それぞれ特有の言語の変遷を意識しながら読み進めていく。

評価方法

デザイン・アートコース

- ・授業中の行動観察
- ・ワークシート、小テスト
- ・ノート等授業記録
- ・授業の振り返り
- ・レポート評価
- ・定期考査（4回）

評価の観点

a. 知識・技能
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。
b. 思考・判断・表現
論理的に考える力や深く共感したり豊かに創造したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。
c. 主体的に取り組む態度
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

令和7年度 教科シラバス

教科	地理歴史	科目	地理総合
単位数	デザイン：2単位/キャリア：3単位	レポート	デザイン：6回/キャリア：9回
教科書	高等学校地理総合 世界を学び、地域をつくる (第一学習社)、基本地図帳 (二宮書店)	副教材	デザイン：学習事項の整理と作業 地理総合ノート (第一学習社)/キャリア：なし

学習目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

学習内容

前期 (4～9月)	後期 (10～3月)
第Ⅰ編 地図や地理情報システムと現代世界 第1節 球面上の世界と地図 第2節 国家の結びつきとグローバル化する世界 (【レポート】デ:① キャ:①②、【前期中間考査】) 第Ⅱ編 国際理解と国際協力 第1章 生活・文化の多様性と国際理解 (【レポート】デ:②③ キャ:③④⑤、【前期期末考査】)	第1節 持続可能な社会を目指して 第2節 すべての人々の尊厳と平等が守られた社会に向けて 第3節 自然と調和した豊かな社会に向けて 第4節 現役世代と将来の世代のための地球 第5節 平和で公正な社会に向けて (【レポート】デ:④⑤ キャ:⑥⑦⑧、【後期中間考査】) 第Ⅲ編 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望 (【レポート】デ:⑥ キャ:⑨、【後期期末考査】)

学習方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
【授業】 授業プリントに沿って学習する。 【レポート】 授業で終わった範囲の復習をする 【考査勉強】 授業プリント・副教材・絶対に出るプリントから出題	【授業】 授業プリントに沿って学習する。 【レポート】 主に授業プリントの内容を復習する。 【考査勉強】 絶対に出るプリント・授業プリントから出題 【学び直し】 国名30カ国、用語の読み書き

評価方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
「評価の観点」参照	「評価の観点」参照

評価の観点 (評価方法/配点割合)

a. 知識・技能 (定期考査/50) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
b. 思考・判断・表現 (レポート/30) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それら基に議論したりしている。
c. 主体的に取り組む態度 (授業プリント、デザイン・アートコースは副教材も含む/20) 地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

令和7年度 教科シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅰ
単位数	3単位	レポート	9回
教科書	最新 数学Ⅰ（数研出版）	副教材	3 ROUND 数学Ⅰ（数研出版）

学習目標

数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

学習内容

前期（4～9月）			後期（10～3月）		
内 容	考 査	レポ-ト	内 容	考 査	レポ-ト
第1章 数と式	前期中間	①②③	第3章 2次関数	後期中間	⑥
第2章 集合と命題	前期期末	④	第4章 図形と計量	後期期末	⑦⑧
第3章 2次関数	前期期末	⑤	第5章 データの分析	後期期末	⑨

学習方法

デザイン・アートコース

教科書に沿って、定義と公式の意味・使い方、例題を解説します。また、教科書の問と副教材を活用して数多くの問題演習に取り組み、高等学校で必要な計算能力を身に付けていきます。

評価方法

デザイン・アートコース

- ①授業態度（出席率等も含む）
- ②小テスト
- ③レポート評価
- ④定期考査（4回）

評価の観点

a. 知識・技能

数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

b. 思考・判断・表現

命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の課程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

c. 主体的に取り組む態度

数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

令和7年度 教科シラバス

教科	国語	科目	言語文化（デザイン・アート）
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	言語文化（大修館書店）	副教材	教科準拠言語文化学習ノート（大修館書店） イラストでつかむ古文の基礎（中部日本教育文化会）

学習目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、他者とのかかわりの中で伝え合う力、言葉による見方・考え方に対する意識を高めるとともに思考力や想像力を伸ばすことで心情を豊かにし、言語感覚を磨くことで実社会の充実を図る。

学習内容

前期（4～9月）			後期（10～3月）		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
言語文化への視点 「文字の深秘」	中間	①	自然へのまなざし 「をりふしの移り変はるこそ」	—	③
古文に親しむ 「児のそら寝」「絵仏師良秀」	中間	①	言葉を紡ぐ 「羅生門」	中間	④
漢文に親しむ 「私たちと漢文」	期末	②	人との交わり 「伊勢物語」	中間	⑤
現代に生きる言葉 「蛇足」	期末	②	伝統と発展、思いを表す言葉Ⅱ 短歌・俳句	期末	⑥
伝統と発展 「実体の美と状況の美」	期末	③	旅と人生 「おくのほそ道」	期末	⑥

学習方法

デザイン・アートコース

副教材を活用して問題演習を行い、内容を理解する。現代文、古文、漢文の様々な文章を学習する。それぞれ特有の言語の変遷を意識しながら読み進めていく。

評価方法

デザイン・アートコース

- ・授業中の行動観察
- ・ワークシート、小テスト
- ・ノート等授業記録
- ・授業の振り返り
- ・レポート評価
- ・定期考査（4回）

評価の観点

a. 知識・技能
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。
b. 思考・判断・表現
論理的に考える力や深く共感したり豊かに創造したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。
c. 主体的に取り組む態度
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

令和7年度 教科シラバス

教科	国語	科目	現代の国語
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	現代の国語（大修館書店）	副教材	現代の国語学習ノート（大修館書店） 新概念現代の国語（浜島書店） 現代文単語げんたん（いわずな書店）

学習目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、他者とのかわりの中で伝え合う力を高めるとともに思考力や想像力を伸ばすことで心情を豊かにし、言語感覚を磨くことで実社会の充実を図る。

学習内容

前期（4～9月）			後期（10～3月）		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
文章の要点をつかむ ・水の東西 ・動的平衡としての生物多様性	中間	①	類似的文章を比較しながら読む ・「美しさの発見」について ・脳は美をどう感じるか	中間	④
伝わるように話す ・伝わるように話す ・わかりやすく書く ・工夫して話す	中間	②	根拠を吟味しながら読む ・贅沢を取り戻す ・文章を読み取り主張を書く	中間・期末	⑤
資料と文章の関係を読む ・「安くておいしい国」の限界 ・インターネット時代の音楽産業 ・統計資料をもとに意見を書く	期末	③	主体的に読み、考えを発信する ・白 ・作業ロボットの悲劇 ・レポートを書く	期末	⑥

学習方法

デザイン・アートコース

副教材を活用して問題演習を行いながら内容を理解していく。文章を読んだり、意見を書いたり表現したりと様々な活動を行う。

評価方法

デザイン・アートコース

・授業中の行動観察・レポート評価・ワークシート（振り返りも含む）・授業プリント評価・定期考査（4回）

評価の観点

a. 知識・技能
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、その特質を理解し、適切に使うことができ、自国の言語文化に対する理解を深めている。
b. 思考・判断・表現
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、その特質を理解し、適切に使うことができ、自国の言語文化に対する理解を深めている。
c. 主体的に取り組む態度
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、自国の言語文化の担い手として自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。

令和7年度 教科シラバス

教科	数学	科目	数学Ⅰ
単位数	3単位	レポート	9回
教科書	最新 数学Ⅰ（数研出版）	副教材	3 ROUND 数学Ⅰ（数研出版）

学習目標

数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

学習内容

前期（4～9月）			後期（10～3月）		
内 容	考 査	レポ-ト	内 容	考 査	レポ-ト
第1章 数と式	前期中間	①②③	第3章 2次関数	後期中間	⑥
第2章 集合と命題	前期期末	④	第4章 図形と計量	後期期末	⑦⑧
第3章 2次関数	前期期末	⑤	第5章 データの分析	後期期末	⑨

学習方法

デザイン・アートコース

教科書に沿って、定義と公式の意味・使い方、例題を解説します。また、教科書の問と副教材を活用して数多くの問題演習に取り組み、高等学校で必要な計算能力を身に付けていきます。

評価方法

デザイン・アートコース

- ①授業態度（出席率等も含む）
- ②小テスト
- ③レポート評価
- ④定期考査（4回）

評価の観点

a. 知識・技能

数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

b. 思考・判断・表現

命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の課程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

c. 主体的に取り組む態度

数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基いて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

令和7年度 教科シラバス

教科	保健体育	科目	体育(1年次)
単位数	3単位	レポート	3回
教科書	現代高等保健体育 (大修館書店)	副教材	ステップアップ高校スポーツ Active sports

学習目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。

生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。

運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

学習内容

前期 (4～9月)			後期 (10～3月)		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
スポーツの発祥と発展		①②	スポーツの発祥と発展		③
体のつくりと働き		①	バスケットボール		③
バレーボール・体づくり運動		①	卓球		③
陸上競技		②	バドミントン		③
ダンス・体づくり運動		②			

学習方法

デザイン・アートコース
<ul style="list-style-type: none"> ・レポートは教科書・ルールブックを参考に、体育理論・実技に関する問題を解きながら知識を深める。 ・実技はそれぞれの時間を楽しみながら実践する。身体的・精神的に実技が困難な場合診断書を提出し認められれば、授業中の見学者用レポートで出席の代替えとする。

評価方法

デザイン・アートコース
<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度(出席率等も含む) ・実技テスト ・レポート評価

評価の観点

a. 知識・技能
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解していると同時に、目的に応じた技能を身に付けている。
b. 思考・判断・表現
自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。
c. 主体的に取り組む態度
運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。

令和7年度 教科シラバス

教科	保健体育	科目	保健
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材	現代高等保健体育ノート（大修館書店）

学習目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を養う。

学習内容

前期（4～9月）			後期（10～3月）		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
1単元 現代社会と健康	期末考査	①②	3単元 生涯を通じる健康	期末考査	④⑤
2単元 安全な社会生活	期末考査	③	4単元 健康を支える環境づくり	期末考査	⑤⑥

学習方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
副教材を利用し、生徒に考えさせながら学習をすすめる。 1時間あたり教科書2ページのペースで進める。	副教材を利用し、生徒に考えさせながら学習をすすめる。 1時間あたり教科書2ページのペースで進める。

評価方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度（出席率も含む） ・発問評価（小テスト） ・レポート評価 ・定期考査（2回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度（出席率も含む） ・発問評価（小テスト） ・レポート評価 ・定期考査（2回）

評価の観点

a. 知識・技能
各単元において、社会的な対策が必要であること、責任が生じること、適切に行う技能を身に付けなければならないことなどを理解している。
b. 思考・判断・表現
<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 ・安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えてるとともに、それらを表現している。 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 ・健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。
c. 主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。 ・安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。 ・生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。 ・健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

令和7年度 教科シラバス

教科	芸術	科目	美術1
単位数	2	レポート	6回
教科書	美術1	副教材	

学習目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせて、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広くかかわる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

学習内容

前期 (4~9月)			後期 (10~3月)		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
美術とは		①	生命感をあらわす		④
キャ 身近なものを描く		②	工芸デザイン・マークやサイン		⑤
デ 共同制作		②	まとめ		⑥
風景画		③			

学習方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
授業に出席し、テーマに沿って作品制作する。 表現に対して鑑賞を行う。 教科書、資料を活用する。	授業に出席し、テーマに沿って作品制作する。 表現に対して鑑賞を行う。 教科書、資料を活用する。

評価方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
以下の項目を総合的に判断し評価する。 ・作品（作品への取り組み方や作品への向き合い方も含む） ・提出物（レポート、作品提出期限の厳守なども含む） ・授業態度（出席率を含む）	以下の項目を総合的に判断し評価する。 ・作品（作品への取り組み方や作品への向き合い方も含む） ・提出物（レポート、作品提出期限の厳守なども含む） ・授業態度（出席率を含む）

評価の観点

a. 知識・技能
・対象の持つ造形的なよさを捉え、制作するための基礎的な技能を習得している。 ・イメージや作品について言葉や文章で説明できる。 ・美術の基礎的な知識を理解している。
b. 思考・判断・表現
・イメージを膨らませたり、構想を練ったり、計画的に取り組んでいる。 ・表現する際に、道具や表現技法を選ぶことができる。 ・学んだ知識や技法を表現に生かしている。
c. 主体的に取り組む態度
・美術文化や表現技法に関心を持ち、制作や鑑賞に主体的に取り組んでいる。 ・他者の制作する姿勢や作品に興味を持ち、意欲的に自己の制作に生かそうとしている。 ・粘り強く制作に取り組んでいる。

令和6年度 教科シラバス

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅠ
単位数	4単位	レポート	12回
教科書	MY WAY English Communication I (三省堂)	副教材	同教科書ワークブックSTANDARD (三省堂)

学習目標

外国語を通して、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけるとともに、与えられた語句や表現を活用して、幅広い話題について、情報や考えなどを的確に理解したり伝えたりすることができる。

学習内容

前期 (4~9月)			後期 (10~3月)		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
Starter 文のしくみ、品詞、節と句	前期中間	1	Lesson6 A Wheelchair Traveler 分詞の形容詞的用法、分詞構文	後期中間	7
Lesson1 Proverb 動詞の形、that節		2	Lesson7 The Fugees 関係副詞、比較級最上級		8
Lesson2 Iwago Mitsuaki 助動詞、受け身		3	Lesson8 Avatar Robots 仮定法		9
Lesson3 Canned Mackerel to Space 動名詞、不定詞	前期期末	4	Lesson9 Kadono Eiko SVOO、SVOC	後期期末	10
Lesson4 Winnie-the-Pooh 現在完了形、過去完了形		5	Lesson10 SDGs プレゼンテーション		11 12
Lesson5 Endangered Languages 関係代名詞		6	Reading The Tale of Johnny Town-Mouse		

学習方法

デザイン・アートコース

○予習→授業→復習の学習習慣を身につける

- ・予習…辞書なしで読み大まかに内容を把握する。まとまった英文を読みことに慣れる。新出単語の意味を確認する。
- ・授業…本文内容を深く読む。理解を深めるための音読練習。内容に関する意見交換。文法事項を深めるための表現活動。

評価方法

デザイン・アートコース

授業への取組（授業態度、発表内容など）、定期考査（4回）、レポート評価、小テスト、課題提出状況など総合的に判断して行う。

評価の観点

a. 知識・技能

音声、語彙・表現の意味、文法など言語の働きについて理解を深め、これらの知識を適切に活用して書いたり話したりすることができる。

b. 思考・判断・表現

話し手や書き手の意図を的確に理解し、聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えを話したり書いたりすることができる。

c. 主体的に取り組む態度

言語やその背景にある文化に対する理解を深め、学んだことを活用して、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。

令和6年度 教科シラバス

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅰ
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	VISTA Logic and Expression I (三省堂)	副教材	同教科書サブノート(三省堂) チャンクで英単語Basic(三省堂)

学習目標

日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用し、基本的な語句や文を使って、情報や考えを論理の展開を工夫しながら伝えることができる。

学習内容

前期(4~9月)			後期(10~3月)		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
Lesson1 Boulderling?(自己紹介) Lesson2 Famous People (歴史上の人物紹介)	前期中間	1	Lesson8 Great Inventions(発明品) Lesson9 Save the Earth(環境問題) Lesson10 Masterpiece(芸術)	後期中間	4
Lesson3 Aquarium(今していること) Lesson4 My Summer Plan(計画)		2	Lesson11 My Future Job(職業) Lesson12 World Heritage(世界遺産)		5
Lesson5 UFO Sightings(経験) Lesson6 Homestay(メールを書く) Lesson7 Which is faster?(比較)	前期期末	3	Lesson13 Pictogram(ピクトグラム) Lesson14 Cool Japan(日本文化) Lesson15 What's SDGs?(国際協力)	後期期末	6

学習方法

デザイン・アートコース

○予習→授業→復習の学習習慣を身につける。

・予習…新出単語の意味を確認する。

・授業…各課のゴールが達成できるように必要な語彙・表現を身につける。

ペア・グループでの会話、意見交換(やり取り)、スピーチ・プレゼンテーション(発表)、メールやホームページ作成など(書く)を行う。

・復習…サブノート、レポート課題に取り組む。個々の目標設定に基づいて、語彙の定着を図るための学習を行う。

評価方法

デザイン・アートコース

授業への取組(授業態度、発表内容など)、定期考査(4回)、レポート評価、小テスト、課題提出状況など総合的に判断して行う。

評価の観点

a. 知識・技能

日常的な話題や社会的な話題における情報や考えを、話すまたは書くために必要な語彙や表現を理解し、書いたり話したりして伝えることができる。

b. 思考・判断・表現

情報や考えなどにおける要点、話し手や書き手の意図などを理解し、これらを活用して自分の意見を伝えたり書いたりしている。

c. 主体的に取り組む態度

日常的な話題についての意見や考えを、聞いたり読んだりして習得したことを活用して、相手が理解できるように伝えようとしている。

令和7年度 教科シラバス

教科	情報	科目	情報Ⅰ
単位数	2単位	レポート	4回
教科書	高等学校 情報Ⅰ（第一学習社）	副教材	ポイントでマスター基礎からはじめる情報リテラシー（実教出版）

学習目標

- 1 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題を発見・解決する力を習得する。
- 2 問題の発見・解決に向けて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を習得する。
- 3 情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を身に付ける。

学習内容

前期（4～9月）			後期（10～3月）		
内 容	考 査	レポ-ト	内 容	考 査	レポ-ト
第1章 情報社会の問題解決	前期	①	第3章 コンピュータとプログラミング	後期	③
第2章 コミュニケーションと情報デザイン	前期	②	第4章 情報通信ネットワークとデータの活用	後期	④

学習方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
教科書に沿って、情報社会で必要不可欠である事柄等を解説します。また、パソコン実習では文書作成ソフトや表計算ソフト、ペイントソフト等を活用して実習を行い、基本的なパソコン技術を学び、リテラシーを身に付けていきます。	教科書に沿って、情報社会で必要不可欠である事柄等を解説します。また、パソコン実習では文書作成ソフトや表計算ソフト等を活用して実習を行い、基本的なパソコン技術を学び、リテラシーを身に付けていきます。

評価方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
① 授業や実習態度（出席率も含む） ② レポート評価 ③ 定期考査（2回）	① 授業や実習態度（出席率も含む） ② レポート評価 ③ 定期考査（2回）

評価の観点

a. 知識・技能 情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
b. 思考・判断・表現 情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。
c. 主体的に取り組む態度 情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。

令和7年度 教科シラバス

教科	美術	科目	デッサン I
単位数	3	レポート	6
教科書	美術 1 村図書)	(光 副教材	デッサンの基本 (アトリエ・ハイデ)

学習目標

- (1) 道具や材料の特性を理解し、対象を観察することでの確に描写する基礎的な技能を身に付ける。
- (2) 対象のイメージや空間を把握するための基礎となる思考力、判断力、表現力などを養う。
- (3) 造形表現を追求する中で、主体的に学習に取り組む態度を養う。

学習内容

幾何形体や身の回りのもの、自然物や石膏像など様々なモチーフの描写を通して、幅広い描写力と表現力、観察力を養う。主に下記の内容について学ぶ。

- ・道具の使い方など、制作にあたっての基本的な姿勢を学ぶ。
- ・タッチやグラデーションなど基礎的な表現技法を学ぶ。
- ・形のとり方や構図など、基礎的な描き方を学ぶ。
- ・光や陰影について知り、モチーフの立体的な捉え方を学ぶ。
- ・クロッキーや人体を用いて動きや流れについて学ぶ。

学習方法

- ・教科書やワークシートなどを活用する。
- ・授業に参加し、活動を通して内容の理解を深める。
- ・講評などを通して客観的な自己評価の姿勢を養うことで、学びを深める。
- ・制作は期限を守って完成させることを意識させ、作品及びレポートを提出する。
- ・宿題や週末課題などを課す場合がある。

評価方法

- ・出席
- ・授業態度
- ・課題作品
- ・レポート等の提出物(期限厳守)
等から総合的に判断し評価する。

評価の観点

a. 知識・技能
・素描に適した表現材料の特性を生かせるよう理解を深めている。
・対象を深く観察したことを基に表現を的確に表すことができている。
b. 思考・判断・表現
・深い観察を通して、対象のイメージや空間、形体などを把握することができている。
・造形的な見方・考え方を働かせている。
c. 主体的に取り組む態度
・主体的にデッサンや表現することなどの創造的な諸活動に取り組もうとしている。
・粘り強く制作に取り組んでいる。

令和7年度 教科シラバス

教科	芸術	科目	平面構成
単位数	2	レポート	6
教科書	光村図書「美術1」	副教材	

学習目標

デザインの基礎である平面構成を通して、用具の使い方や色彩、構成の仕組み、効果について理解する。目的や条件、美しさなどに留意し、計画的・創造的に表現する能力を身につける。またデザインにおいて重要なアイデアやイメージを他者に分かりやすく伝えるための能力を養い、デザインや色彩に関する興味関心を高める。

学習内容

色彩や構成の仕組みを学習しながら、制作計画にも留意して、アクリルガッシュ等を使用した作品を制作、作品鑑賞、レポート課題を行う。内容として下記の課題を行う。(【】内は教科書の該当ページ)

- 1、平面構成とは何か。原理と基本構成・画面構成
- 2、アクリルガッシュの使い方、平塗り、グラデーションの練習 【アクリル絵の具で描く】
- 3、色彩学の基本と色彩面分割 【色の性質、色の効果、配色のヒント】
- 4、モチーフの平面構成(幾何学、野菜・果物、工業製品等) 【アクリル絵の具で描く】

学習方法

課題文を良く読み、要点を確認して課題の意図に沿った制作を行うこと。アイデアスケッチや色彩計画など、制作は順を追って行い、必ず担当教諭のチェックや指導も受けながら作業を進めること。また計画的に制作を行い、締切は厳守すること。また完成作品の振り返りや他者の作品の鑑賞を通して学習し、自身の成長に繋がるよう努めること。制作に必要な資料収集等も積極的に行うこと。

評価方法

課題の要点を正確に理解し、工夫して画面に表現しているか。アイデアスケッチの段階から計画的に制作しているか。時間内に制作を終了できるか、また作品を丁寧に美しく仕上げているか。アイデアスケッチ、完成作品、プレゼンテーション、レポートを基に下記の観点で評価を行う。

評価の観点

a. 知識・技能

発想や構想したことを基に第三者への分かりやすさを意識しながら、創意工夫して表現する。デザインや色彩に関する表現方法や効果、特性などを理解する。

b. 思考・判断・表現

デザインや色彩に関する表現方法や効果、特性などを活かして発想や構想を行い、画面構成を決定し、第三者への分かりやすさを意識しながら、創意工夫して表現する。

c. 主体的に取り組む態度

発想や構想したことを基に第三者への分かりやすさを意識しながら、表現しようとする創意工夫が見られる。デザインや色彩に関する表現方法や効果などへの理解を深めようとしている。

令和7年度 教科シラバス

教科	総合探究	科目	鑑賞
単位数	1	レポート	3回
教科書	美術1	副教材	

学習目標

- (1) 美術作品や文化財などの特質や背景などについて理解を深めることができるようにする。
- (2) 鑑賞の視点を深化させる創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。
- (3) 美術や美術文化を尊重する態度を養う。

学習内容

前期（4～9月）			後期（10～3月）		
内 容	考 査	レポ-ト	内 容	考 査	レポ-ト
ギャラリーみつけ鑑賞		①	長岡造形大卒制展鑑賞		⑤
近代美術館鑑賞・体験授業		②			
モデルデッサン大会		③			
校外展		④			

学習方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
<ul style="list-style-type: none"> ・美術館やギャラリーなどを鑑賞する。 ・個人やグループで探究活動をして発表する。 ・プロのモデルを描いたり、美大で体験的な授業を受ける。 	

評価方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
以下の項目を総合的に判断し評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・提出物（提出期限の厳守を含む） ・授業態度（出席率を含む） 	

評価の観点

a. 知識・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な鑑賞の仕方や態度が身に付いている。 ・作家や作品について知識や理解ができています。 ・基礎的な美術について理解ができています。
b. 思考・判断・表現
<ul style="list-style-type: none"> ・作品などについて根拠をもって論考し、言葉や文章で発表できる。 ・相手に伝えるために適切なイラストや図を活用できる。 ・他者の意見や考えを尊重し、討論や評論ができています。
c. 主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に作品や文化財、作家などについて研究したり、文化的な視野で美術批評ができています。 ・積極的に作家や他者の意見を聞き、自身の考えや視野を広げようとしている。 ・深めた学びを他者を意識して課題やレポートを意欲的に作成している。

令和7年度 教科シラバス

教科	保健体育	科目	体育(1年次)
単位数	3単位	レポート	3回
教科書	現代高等保健体育 (大修館書店)	副教材	ステップアップ高校スポーツ Active sports

学習目標

運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。

生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。

運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

学習内容

前期 (4～9月)			後期 (10～3月)		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
スポーツの発祥と発展		①②	スポーツの発祥と発展		③
体のつくりと働き		①	バスケットボール		③
バレーボール・体づくり運動		①	卓球		③
陸上競技		②	バドミントン		③
ダンス・体づくり運動		②			

学習方法

デザイン・アートコース
<ul style="list-style-type: none"> ・レポートは教科書・ルールブックを参考に、体育理論・実技に関する問題を解きながら知識を深める。 ・実技はそれぞれの時間を楽しみながら実践する。身体的・精神的に実技が困難な場合診断書を提出し認められれば、授業中の見学者用レポートで出席の代替えとする。

評価方法

デザイン・アートコース
<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度(出席率等も含む) ・実技テスト ・レポート評価

評価の観点

a. 知識・技能
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解していると同時に、目的に応じた技能を身に付けている。
b. 思考・判断・表現
自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。
c. 主体的に取り組む態度
運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。

令和7年度 教科シラバス

教科	保健体育	科目	保健
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	現代高等保健体育（大修館書店）	副教材	現代高等保健体育ノート（大修館書店）

学習目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を養う。

学習内容

前期（4～9月）			後期（10～3月）		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
1単元 現代社会と健康	期末考査	①②	3単元 生涯を通じる健康	期末考査	④⑤
2単元 安全な社会生活	期末考査	③	4単元 健康を支える環境づくり	期末考査	⑤⑥

学習方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
副教材を利用し、生徒に考えさせながら学習をすすめる。 1時間あたり教科書2ページのペースで進める。	副教材を利用し、生徒に考えさせながら学習をすすめる。 1時間あたり教科書2ページのペースで進める。

評価方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度（出席率も含む） ・発問評価（小テスト） ・レポート評価 ・定期考査（2回） 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度（出席率も含む） ・発問評価（小テスト） ・レポート評価 ・定期考査（2回）

評価の観点

a. 知識・技能
各単元において、社会的な対策が必要であること、責任が生じること、適切に行う技能を身に付けなければならないことなどを理解している。
b. 思考・判断・表現
<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 ・安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考えてるとともに、それらを表現している。 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 ・健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。
c. 主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。 ・安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。 ・生涯を通じる健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。 ・健康を支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

令和7年度 教科シラバス

教科	芸術	科目	美術1
単位数	2	レポート	6回
教科書	美術1	副教材	

学習目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせて、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広くかかわる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

学習内容

前期 (4~9月)			後期 (10~3月)		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
美術とは		①	生命感をあらわす		④
キャ 身近なものを描く		②	工芸デザイン・マークやサイン		⑤
デ 共同制作		②	まとめ		⑥
風景画		③			

学習方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
授業に出席し、テーマに沿って作品制作する。 表現に対して鑑賞を行う。 教科書、資料を活用する。	授業に出席し、テーマに沿って作品制作する。 表現に対して鑑賞を行う。 教科書、資料を活用する。

評価方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
以下の項目を総合的に判断し評価する。 ・作品（作品への取り組み方や作品への向き合い方も含む） ・提出物（レポート、作品提出期限の厳守なども含む） ・授業態度（出席率を含む）	以下の項目を総合的に判断し評価する。 ・作品（作品への取り組み方や作品への向き合い方も含む） ・提出物（レポート、作品提出期限の厳守なども含む） ・授業態度（出席率を含む）

評価の観点

a. 知識・技能
・対象の持つ造形的なよさを捉え、制作するための基礎的な技能を習得している。 ・イメージや作品について言葉や文章で説明できる。 ・美術の基礎的な知識を理解している。
b. 思考・判断・表現
・イメージを膨らませたり、構想を練ったり、計画的に取り組んでいる。 ・表現する際に、道具や表現技法を選ぶことができる。 ・学んだ知識や技法を表現に生かしている。
c. 主体的に取り組む態度
・美術文化や表現技法に関心を持ち、制作や鑑賞に主体的に取り組んでいる。 ・他者の制作する姿勢や作品に興味を持ち、意欲的に自己の制作に生かそうとしている。 ・粘り強く制作に取り組んでいる。

令和6年度 教科シラバス

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅠ
単位数	4単位	レポート	12回
教科書	MY WAY English Communication I (三省堂)	副教材	同教科書ワークブックSTANDARD (三省堂)

学習目標

外国語を通して、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけるとともに、与えられた語句や表現を活用して、幅広い話題について、情報や考えなどを的確に理解したり伝えたりすることができる。

学習内容

前期 (4~9月)			後期 (10~3月)		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
Starter 文のしくみ、品詞、節と句	前期中間	1	Lesson6 A Wheelchair Traveler 分詞の形容詞的用法、分詞構文	後期中間	7
Lesson1 Proverb 動詞の形、that節		2	Lesson7 The Fugees 関係副詞、比較級最上級		8
Lesson2 Iwago Mitsuaki 助動詞、受け身		3	Lesson8 Avatar Robots 仮定法		9
Lesson3 Canned Mackerel to Space 動名詞、不定詞	前期期末	4	Lesson9 Kadono Eiko SVOO、SVOC	後期期末	10
Lesson4 Winnie-the-Pooh 現在完了形、過去完了形		5	Lesson10 SDGs プレゼンテーション		11
Lesson5 Endangered Languages 関係代名詞		6	Reading The Tale of Johnny Town-Mouse		12

学習方法

デザイン・アートコース

○予習→授業→復習の学習習慣を身につける

- ・予習…辞書なしで読み大まかに内容を把握する。まとまった英文を読みことに慣れる。新出単語の意味を確認する。
- ・授業…本文内容を深く読む。理解を深めるための音読練習。内容に関する意見交換。文法事項を深めるための表現活動。

評価方法

デザイン・アートコース

授業への取組（授業態度、発表内容など）、定期考査（4回）、レポート評価、小テスト、課題提出状況など総合的に判断して行う。

評価の観点

a. 知識・技能

音声、語彙・表現の意味、文法など言語の働きについて理解を深め、これらの知識を適切に活用して書いたり話したりすることができる。

b. 思考・判断・表現

話し手や書き手の意図を的確に理解し、聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えを話したり書いたりすることができる。

c. 主体的に取り組む態度

言語やその背景にある文化に対する理解を深め、学んだことを活用して、主体的、自律的に英語を使ってコミュニケーションを図ろうとしている。

令和6年度 教科シラバス

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅰ
単位数	2単位	レポート	6回
教科書	VISTA Logic and Expression I (三省堂)	副教材	同教科書サブノート(三省堂) チャンクで英単語Basic(三省堂)

学習目標

日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用し、基本的な語句や文を使って、情報や考えを論理の展開を工夫しながら伝えることができる。

学習内容

前期(4~9月)			後期(10~3月)		
内容	考査	レポート	内容	考査	レポート
Lesson1 Boulderling?(自己紹介) Lesson2 Famous People (歴史上の人物紹介)	前期中間	1	Lesson8 Great Inventions(発明品) Lesson9 Save the Earth(環境問題) Lesson10 Masterpiece(芸術)	後期中間	4
Lesson3 Aquarium(今していること) Lesson4 My Summer Plan(計画)		2	Lesson11 My Future Job(職業) Lesson12 World Heritage(世界遺産)		5
Lesson5 UFO Sightings(経験) Lesson6 Homestay(メールを書く) Lesson7 Which is faster?(比較)	前期期末	3	Lesson13 Pictogram(ピクトグラム) Lesson14 Cool Japan(日本文化) Lesson15 What's SDGs?(国際協力)	後期期末	6

学習方法

デザイン・アートコース

○予習→授業→復習の学習習慣を身につける。

・予習…新出単語の意味を確認する。

・授業…各課のゴールが達成できるように必要な語彙・表現を身につける。

ペア・グループでの会話、意見交換(やり取り)、スピーチ・プレゼンテーション(発表)、メールやホームページ作成など(書く)を行う。

・復習…サブノート、レポート課題に取り組む。個々の目標設定に基づいて、語彙の定着を図るための学習を行う。

評価方法

デザイン・アートコース

授業への取組(授業態度、発表内容など)、定期考査(4回)、レポート評価、小テスト、課題提出状況など総合的に判断して行う。

評価の観点

a. 知識・技能

日常的な話題や社会的な話題における情報や考えを、話すまたは書くために必要な語彙や表現を理解し、書いたり話したりして伝えることができる。

b. 思考・判断・表現

情報や考えなどにおける要点、話し手や書き手の意図などを理解し、これらを活用して自分の意見を伝えたり書いたりしている。

c. 主体的に取り組む態度

日常的な話題についての意見や考えを、聞いたり読んだりして習得したことを活用して、相手が理解できるように伝えようとしている。

令和7年度 教科シラバス

教科	情報	科目	情報Ⅰ
単位数	2単位	レポート	4回
教科書	高等学校 情報Ⅰ（第一学習社）	副教材	ポイントでマスター基礎からはじめる情報リテラシー（実教出版）

学習目標

- 1 情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題を発見・解決する力を習得する。
- 2 問題の発見・解決に向けて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を習得する。
- 3 情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を身に付ける。

学習内容

前期（4～9月）			後期（10～3月）		
内 容	考 査	レポ-ト	内 容	考 査	レポ-ト
第1章 情報社会の問題解決	前期	①	第3章 コンピュータとプログラミング	後期	③
第2章 コミュニケーションと情報デザイン	前期	②	第4章 情報通信ネットワークとデータの活用	後期	④

学習方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
教科書に沿って、情報社会で必要不可欠である事柄等を解説します。また、パソコン実習では文書作成ソフトや表計算ソフト、ペイントソフト等を活用して実習を行い、基本的なパソコン技術を学び、リテラシーを身に付けていきます。	教科書に沿って、情報社会で必要不可欠である事柄等を解説します。また、パソコン実習では文書作成ソフトや表計算ソフト等を活用して実習を行い、基本的なパソコン技術を学び、リテラシーを身に付けていきます。

評価方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
① 授業や実習態度（出席率も含む） ② レポート評価 ③ 定期考査（2回）	① 授業や実習態度（出席率も含む） ② レポート評価 ③ 定期考査（2回）

評価の観点

a. 知識・技能 情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
b. 思考・判断・表現 情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。
c. 主体的に取り組む態度 情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。

令和7年度 教科シラバス

教科	美術	科目	デッサンⅠ
単位数	3	レポート	6
教科書	美術1 村図書)	(光 副教材	デッサンの基本 (アトリエ・ハイデ)

学習目標

- (1) 道具や材料の特性を理解し、対象を観察することでの確に描写する基礎的な技能を身に付ける。
- (2) 対象のイメージや空間を把握するための基礎となる思考力、判断力、表現力などを養う。
- (3) 造形表現を追求する中で、主体的に学習に取り組む態度を養う。

学習内容

幾何形体や身の回りのもの、自然物や石膏像など様々なモチーフの描写を通して、幅広い描写力と表現力、観察力を養う。主に下記の内容について学ぶ。

- ・道具の使い方など、制作にあたっての基本的な姿勢を学ぶ。
- ・タッチやグラデーションなど基礎的な表現技法を学ぶ。
- ・形のとり方や構図など、基礎的な描き方を学ぶ。
- ・光や陰影について知り、モチーフの立体的な捉え方を学ぶ。
- ・クロッキーや人体を用いて動きや流れについて学ぶ。

学習方法

- ・教科書やワークシートなどを活用する。
- ・授業に参加し、活動を通して内容の理解を深める。
- ・講評などを通して客観的な自己評価の姿勢を養うことで、学びを深める。
- ・制作は期限を守って完成させることを意識させ、作品及びレポートを提出する。
- ・宿題や週末課題などを課す場合がある。

評価方法

- ・出席
- ・授業態度
- ・課題作品
- ・レポート等の提出物(期限厳守)
等から総合的に判断し評価する。

評価の観点

a. 知識・技能
・素描に適した表現材料の特性を生かせるよう理解を深めている。
・対象を深く観察したことを基に表現を的確に表すことができている。
b. 思考・判断・表現
・深い観察を通して、対象のイメージや空間、形体などを把握することができている。
・造形的な見方・考え方を働かせている。
c. 主体的に取り組む態度
・主体的にデッサンや表現することなどの創造的な諸活動に取り組もうとしている。
・粘り強く制作に取り組んでいる。

令和7年度 教科シラバス

教科	芸術	科目	平面構成
単位数	2	レポート	6
教科書	光村図書「美術1」	副教材	

学習目標

デザインの基礎である平面構成を通して、用具の使い方や色彩、構成の仕組み、効果について理解する。目的や条件、美しさなどに留意し、計画的・創造的に表現する能力を身につける。またデザインにおいて重要なアイデアやイメージを他者に分かりやすく伝えるための能力を養い、デザインや色彩に関する興味関心を高める。

学習内容

色彩や構成の仕組みを学習しながら、制作計画にも留意して、アクリルガッシュ等を使用した作品を制作、作品鑑賞、レポート課題を行う。内容として下記の課題を行う。(【 】内は教科書の該当ページ)

- 1、平面構成とは何か。原理と基本構成・画面構成
- 2、アクリルガッシュの使い方、平塗り、グラデーションの練習 【アクリル絵の具で描く】
- 3、色彩学の基本と色彩面分割 【色の性質、色の効果、配色のヒント】
- 4、モチーフの平面構成(幾何学、野菜・果物、工業製品等) 【アクリル絵の具で描く】

学習方法

課題文を良く読み、要点を確認して課題の意図に沿った制作を行うこと。アイデアスケッチや色彩計画など、制作は順を追って行い、必ず担当教諭のチェックや指導も受けながら作業を進めること。また計画的に制作を行い、締切は厳守すること。また完成作品の振り返りや他者の作品の鑑賞を通して学習し、自身の成長に繋がるよう努めること。制作に必要な資料収集等も積極的に行うこと。

評価方法

課題の要点を正確に理解し、工夫して画面に表現しているか。アイデアスケッチの段階から計画的に制作しているか。時間内に制作を終了できるか、また作品を丁寧に美しく仕上げているか。アイデアスケッチ、完成作品、プレゼンテーション、レポートを基に下記の観点で評価を行う。

評価の観点

a. 知識・技能

発想や構想したことを基に第三者への分かりやすさを意識しながら、創意工夫して表現する。デザインや色彩に関する表現方法や効果、特性などを理解する。

b. 思考・判断・表現

デザインや色彩に関する表現方法や効果、特性などを活かして発想や構想を行い、画面構成を決定し、第三者への分かりやすさを意識しながら、創意工夫して表現する。

c. 主体的に取り組む態度

発想や構想したことを基に第三者への分かりやすさを意識しながら、表現しようとする創意工夫が見られる。デザインや色彩に関する表現方法や効果などへの理解を深めようとしている。

令和7年度 教科シラバス

教科	総合探究	科目	鑑賞
単位数	1	レポート	3回
教科書	美術1	副教材	

学習目標

- (1) 美術作品や文化財などの特質や背景などについて理解を深めることができるようにする。
- (2) 鑑賞の視点を深化させる創造的な思考力、判断力、表現力等を育成する。
- (3) 美術や美術文化を尊重する態度を養う。

学習内容

前期（4～9月）			後期（10～3月）		
内 容	考 査	レポ-ト	内 容	考 査	レポ-ト
ギャラリーみつけ鑑賞		①	長岡造形大卒制展鑑賞		⑤
近代美術館鑑賞・体験授業		②			
モデルデッサン大会		③			
校外展		④			

学習方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
<ul style="list-style-type: none"> ・美術館やギャラリーなどを鑑賞する。 ・個人やグループで探究活動をして発表する。 ・プロのモデルを描いたり、美大で体験的な授業を受ける。 	

評価方法

デザイン・アートコース	キャリアコース週4日登校型
以下の項目を総合的に判断し評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・提出物（提出期限の厳守を含む） ・授業態度（出席率を含む） 	

評価の観点

a. 知識・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な鑑賞の仕方や態度が身に付いている。 ・作家や作品について知識や理解ができています。 ・基礎的な美術について理解ができています。
b. 思考・判断・表現
<ul style="list-style-type: none"> ・作品などについて根拠をもって論考し、言葉や文章で発表できる。 ・相手に伝えるために適切なイラストや図を活用できる。 ・他者の意見や考えを尊重し、討論や評論ができています。
c. 主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に作品や文化財、作家などについて研究したり、文化的な視野で美術批評ができています。 ・積極的に作家や他者の意見を聞き、自身の考えや視野を広げようとしている。 ・深めた学びを他者を意識して課題やレポートを意欲的に作成している。